

Junichi×ODAKYU×チョコレボ バレンタイン限定！小田急オリジナルチョコレート

『チョコレボ ガーナプロジェクト』に売上の一部を寄付

フェアトレードやオーガニックなど「人と地球にやさしいチョコレート」を広めるためのキャンペーン“チョコレボ”(Choco-Revo!!)を推進する、チョコレボ実行委員会(代表: 星野 智子)は、株式会社小田急百貨店さまよりバレンタインフェア「LOVE Wonderland ～たくさんのLOVEをあざやかに贈る～」にて、『チョコレボ ガーナプロジェクト』へのご協力を頂く事になりましたことを皆さまにご報告致します。

小田急百貨店バレンタインフェアにて販売される小田急オリジナルチョコレート「チャリティーチョコレート」と「チャリティーTシャツ」の売上の一部を、2010年よりチョコレボ実行委員会が本格的に開始する『チョコレボ ガーナプロジェクト』へ寄附いただけることになりました。

世界第2位のカカオ生産国であるガーナでは、自然に負担をかける無理な生産体制によって、森林や生態系が失われつつあります。小田急百貨店より、このガーナの森の生態系を豊かにし、「人と地球にやさしい」カカオを育てる生産者を応援する『チョコレボ ガーナプロジェクト』に賛同いただき、「チャリティーチョコレート」の売上げから商品原価を差し引いた収益金を寄付いただくことになりました。またこの寄附金は『チョコレボ ガーナプロジェクト』の第一段階のアクションである、オーガニック生産者への「苗木配布アクション」と森を守る生産者育成を目的とする「生産者コミュニティ交流プログラム」への費用とさせていただきます。

「チャリティーチョコレート」は小田急百貨店3店舗およびオンラインショッピングにて、バレンタイン期間に3000個が限定発売され、「チャリティーTシャツ」は小田急百貨店新宿店本館4階「コーテリーエクスプレス」において販売、収益金の一部を、同じく『チョコレボ ガーナプロジェクト』に寄付いただきます。

これらのデザインは、「Friend + Peace + Happy」をテーマにした作品制作やチャリティー個展活動にも力を注ぐドローイングアーティスト・Junichi(小野 純一氏)が手がけており、バレンタインを通じて、消費者の方の「LOVE」が、カカオ生産者とチョコを楽しむ人との幸せなつながりをもたらす企画となっております。

このほかにも、小田急百貨店ではフェアトレードの精神に基づき、ビオエキタブル協会の定めるフェアトレードの基準に沿った価格でカカオ豆を購入し、生産者の安定した生活基盤作りのサポートを行っているフランス・カオカ社のクーベルチュールを使用した板チョコレートをJunichi デザインオリジナルBOX入にて小田急百貨店3店舗およびオンラインショッピングで1000個を限定販売する予定です。カオカ社のチョコレートは、オーガニック認証団体の世界基準とも言われている、ECOCERT(国際有機認定機関)の認定も受けており、Junichiが、小田急百貨店のバレンタインのテーマにあわせてデザインした心温まる雰囲気のパッケージが目目をひく、“人と地球にやさしいチョコレート”です。

近年、社会貢献活動への関心が高まっている中で、「バレンタインでできる社会貢献」をテーマに、このように消費者の方も気軽に参加が出来るプログラムの実現が可能になりました。

多くの人に感動を与えているJunichiの「Friend + Peace + Happy」ワールドと、人と地球にやさしいチョコレボが融け合うこの企画、ぜひご参加ください。



◆ 小田急オリジナルチョコレート ◆

- ① チャリティーチョコレート ペカンナッツシヨコラ 315 円
(ココア・キャラメル各30g / Junichi オリジナルメッセージカード付)
販売数: 新宿店 限定1,700 個 / 町田店 限定600 個 / 藤沢店 限定300 個
オンラインショッピング 限定400 個
※「チャリティーチョコレート」の売上げから商品原価を差し引いた収益金が『チョコレボ ガーナプロジェクト』に寄付されます。
- ② ～Junichi Box～ 945 円
(30g × 2 枚組 / スイート・ミルク各1 枚 / Junichi デザインオリジナルBOX 入)
販売数: 新宿店 限定550 個 / 町田店 限定300 個 / 藤沢店 限定100 個
オンラインショッピング 限定50 個

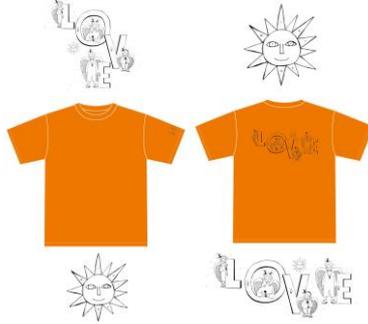
【小田急オリジナルチョコレート販売日・場所】

- <新宿店> 1/20(水)～ 本館7 階紳士洋品・雑貨売場、本館4 階インターナショナルカジュアル『コーテリーエクスプレス』
2/6(土)～ 本館11 階バレンタインワールド
- <町田店> 1/27(水)～ 地下1 階食料品売場、3 階紳士服・洋品売場(チャリティーチョコレートのみ)
3 階スポーツウエア売場(チャリティーチョコレートのみ)、2/7(日)～ 8 階バレンタインワールド
- <藤沢店> 2/1(月)～ 2 階バレンタインマーケット <オンラインショッピング> 1/13(水)～
小田急バレンタインフェア URL: <http://www.odakyu-dept.co.jp/shinjuku/valentine/index02.html>



(画像左上下)Junichiの作品をデザイン「チャリティーTシャツ」(2型・2サイズ/各2,480円)
新宿店本館4階「コーテリィエクスプレス」において、1/20(水)から販売。

※「チャリティーTシャツ」の収益金の一部が『チョコレボ ガーナプロジェクト』に
寄付されます。



◆Junichi (ドローイングアーティスト)

1996年、6歳で訪れたニューヨークで出会った
「自由の女神」に感激し、絵を描き始めた。
以来、作品集や国内外で開催されている個展を通じ、
多くの人に感激を与えている。

Junichi 公式ホームページ: <http://www.junichiworks.com/>

■ フェアトレードとは

生産者組合のよりよい運営や、有機や伝統的農法などの環境にやさしい生産方法に取り組む途上国生産者に対し、適正な価格での長期的取引を保障し、生産者の経済的・社会的自立や環境保全を支援する活動です。国際的なフェアトレード団体が、ILOに準拠した児童労働の制限や環境保全等の規格を設け、世界的に取り組んでいます。

■ チョコレボ実行委員会とは

チョコレボ実行委員会は、フェアトレードやオーガニックなどの「人と地球にやさしいチョコレート」を広めたい、という想いを共有する有志で構成された非営利の団体として、2006年11月より本格始動しました。

キャンペーン“チョコレボ”の推進実行委員会として、「人と地球にやさしいチョコレート」に関する情報をオフィシャルサイトやイベントを通じて発信するほか、日本初となったフェアトレード・マーケティング調査(2007年7月、2008年11月実施)、様々な企業や団体、アーティストとのコラボレーション企画など、新しい取り組みを実施してきました。「人と地球にやさしいチョコレート」の商品を広め、そうした商品を選ぶことが世界により変化をもたらすという理解を一般生活者に伝え、また、企業や団体の販売活動及び新規導入を促進することを目的としています。2010年2月を目途に法人化予定です。

■ チョコレボ ガーナプロジェクトとは

チョコレボ ガーナプロジェクトは、「人と地球にやさしい」カカオを育てる生産者を応援するプロジェクトです。

チョコレボ実行委員会では、2007年より数回にわたり代表星野智子をはじめ数名のスタッフ・関係者が、カカオ生産の本場ガーナにおいて、オーガニックやアグロフォレストリーに取り組む生産者のコミュニティやNGOなどと情報交換し関係構築を進めて参りました。

現在、ガーナでは一部の地域で森林と生態系を守るアグロフォレストリーやオーガニックのカカオが育てられています。中には適正な方法で栽培がなされることで収穫効率は向上し、生産者の暮らしが以前よりも安定するなど成果を上げている事例もあります。しかしその一方で、森林や土地に負荷をかけたり、過度に農薬を使用してしまうことで収穫が安定せず、生計に苦しむ生産者もまだ多く存在しており、学校に通いたくても通えない状況にある子どもたちもたくさんいます。

チョコレボは、人と地球にやさしく、かつ安定した収穫を期待できる農法・技術を広めることをサポートし、子どもたちが前向きに学校にも通えるような、健全なコミュニティの発展を応援していきます。また、そうして生まれたカカオからつくられたチョコレートをもっと多くの人に知って、味わってもらいたいと考えています。

そこで2009年よりガーナにおける具体的なサポートプログラム開始の可能性を探りはじめました。まずは私たちに無理のない範囲で支援でき、かつ現地でも必要とされる活動を！という観点から、オーガニック生産者への「苗木配布アクション」と「生産者コミュニティ交流プログラム」を第一段階のアクションとして2010年度から推進すべく、準備を開始致しました。

●「苗木配布アクション」

オーガニックのカカオ栽培においても、カカオの木自体が年を重ねると次第に衰え、生産効率は低下します。ガーナには50年以上も経過している木が残っており、新しい苗木に植え替えていく必要があります。現地でもオーガニックを推進するCOFA(カカオオーガニック生産者協同組合)では、オーガニックカカオの種や苗木の購入資金が不足しています。チョコレボ実行委員会では皆様からのご支援を頂き、今年もCOFAで新しい苗木を配布できるようアクションを推進して参ります。(2010年6月実施予定)

●「生産者コミュニティ交流プログラム」

カクム国立公園周辺のコミュニティではアグロフォレストリーによるカカオ栽培が成果を出しつつありますが、その他の地域では情報格差もあり、化学肥料を使用した農法に頼るコミュニティや、生産が安定しないコミュニティも多くあります。人と地球にやさしい農法を周辺やその他のエリアにも広めていくべく、生産者同士の交流を促進し、森を守る生産者育成を推進する活動を開始します。

(2010年春より順次開始)

*チョコレボ実行委員会では本プロジェクトへのご支援、ご協力をお願いしております。

お問い合わせ先:チョコレボガーナプロジェクト Email: ghana-prj@choco-revo.net

■ 本リリースに関するお問い合わせ

◇ チョコレボ実行委員会

広報担当: 小笠/大谷 Email: press@choco-revo.net TEL: 03-6912-5778(星野)

URL: <http://www.choco-revo.net>